

第 27 回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会

テーマ

「茨城県のリハビリテーションケアの今昔・未来」



大会長 浅川 育世
公益社団法人 茨城県理学療法士会 会長

日時 2025年2月16日(日)

会場 茨城県保健衛生会館(茨城県水戸市緑町三丁目5番35号)

主催 茨城県総合リハビリテーションケア学会

後援 茨城県
(一社) 茨城県医師会 (公社) 茨城県歯科医師会
(公社) 茨城県薬剤師会 (公社) 茨城県看護協会
(公社) 茨城県作業療法士会 (公社) 茨城県理学療法士会
(公社) 茨城県栄養士会 (一社) 茨城県言語聴覚士会
(一社) 茨城県介護福祉士会 (一社) 茨城県ソーシャルワーカー協会

目 次

第 27 回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会 プログラム／抄録集

第27回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会大会長挨拶	1
参加者の皆様へ	2
会場アクセス	3
口述発表の皆様へ	4
座長の皆様へ	4
後援団体単位・ポイント認定について	4
プログラム	5
抄録集	
対談	9
一般演題	11
実行委員会組織	29
定期総会・理事会議事要旨	
【第 64 回理事会 議事要旨】	30
【第 65 回理事会 議事要旨】	32
【2024 年度定期総会 議事要旨】	34
事務局からのお知らせ	37
入会申込書	37
会則	41
投稿規程	44
茨城県総合リハビリテーションケア学会団体会員一覧	47
編集後記	48

大会長挨拶

第27回 茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会

大会長 浅川 育世

(公益社団法人 茨城県理学療法士会 会長)

本学会も開催27回目を迎えました。27年前の1997年とはどのような年だったのでしょうか。少し振り返ってみますと流行語は失樂園（流行語大賞）・ベル友・たまごっち・ガーデニング・貸し渋り・日本版ビックバン、流行歌はCAN YOU CELEBRATE?（安室奈美恵）、ガラスの少年（KinkiKids）やMajiでKoiする5秒前（広末涼子）などだったそうです。茨城県では東海村の核燃料再処理工場内で爆発事故が発生した年でした。

一方で県内におけるリハビリテーションやケアの状況はどのようなものだったのでしょうか。私自身記憶が薄れ始めています。もちろん大きな出来事として本学会の設立があります。ではそれ以前はどうだったのでしょうか？そろそろアーカイブとして本県のリハビリテーションケアをまとめておく必要があるかと考え、本学会のテーマを「茨城県のリハビリテーションケアの今昔・未来」とし、シンポジウムについても同じテーマで開催させていただくこととしました。

シンポジストには本学会の初代理事長を務めた今高國夫氏（烏山診療所院長）、シルバーリハビリ体操の生みの親、大田仁史氏（NPO 法人日本健康加齢推進機構理事長）、本学会理事長であり元茨城県医師会会長を務めた諸岡信裕氏（小川南病院相談役、県医師会顧問、県病院協会顧問）、リハビリテーション専門職である作業療法士・言語聴覚士・理学療法士の県内3団体をまとめた元茨城県理学療法士会会長佐藤弘行氏（県リハビリテーション専門職協会会長）の4名にご登壇いただき、それぞれの立場から県内のリハビリテーションケアについて対談いただくこととなっています。

アーカイブとしてこれまでの県内のリハビリテーションケアについて振り返るのみだけでなく、学会に参加している皆様より、これからのリハビリテーションケアについてご発言・ご提言いただく時間もとりたいと考えております。本学会の特徴は医療・介護・福祉などに関わる様々な職種の連携に尽きると思います。皆さんで本学会を盛り上げていこうではありませんか。

最後になりますが、本学会の開催に当たり、ご支援・ご協力をいただきました関係各位には心より感謝申し上げます。

参加者の皆様へ

1. 参加資格

市民公開とし、特に制限はございません。皆様お誘い合わせの上ご参加下さい。

2. 学会参加受付

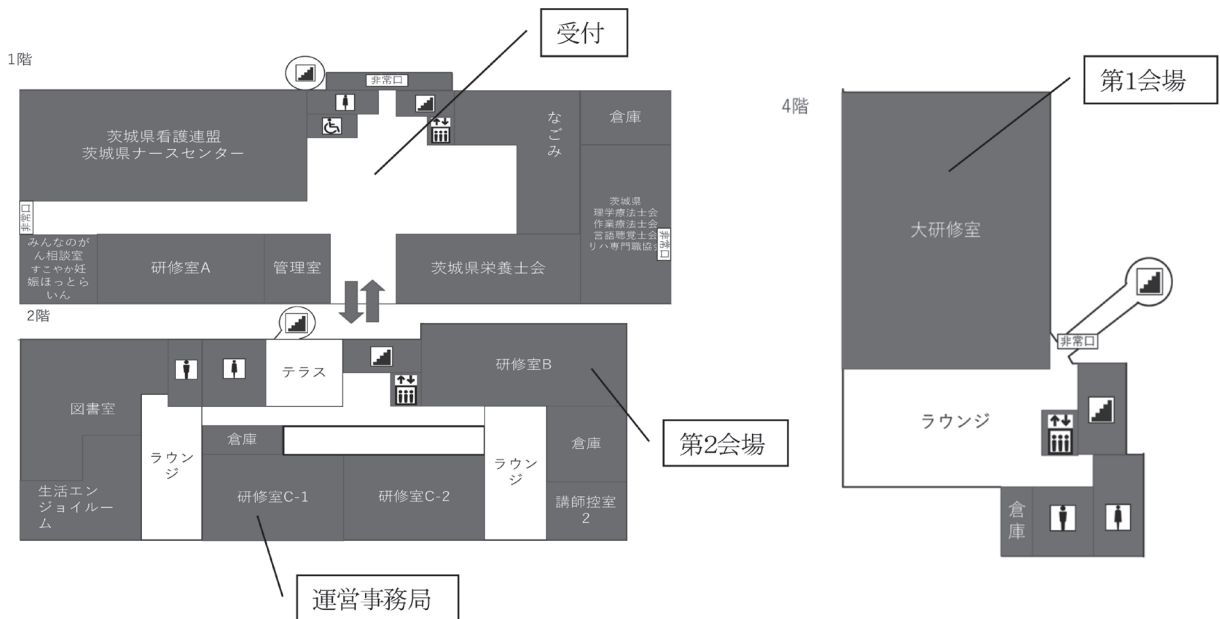
- ・事前受付（※申し込み締め切り2月14日）
第27回茨城県総合リハビリテーション学会学術集会の専用サイトからの申し込みです
※「Peatix」を本学会では利用しています。会員登録後、「チケット購入」にお進みください。
- ・当日受付
会場収容数に満たない場合のみ受付します。会場へ直接お越し下さい。

3. 大会参加費

- ・個人会員 1,000円
- ・団体会員 3,000円
- ・団体会員（発表者） 3,500円
- ・非会員 5,000円 ※会員以外の医療・福祉専門職
- ・学生 無料 ※医療・福祉専門職養成校学生証等を当日受付で確認します
- ・上記以外の一般の方 無料 ※但し、医療・介護・福祉関連の方は除く
※会員とは、茨城県総合リハビリテーションケア学会員をさします

4. フロア図

- ・受付 1階スペースに設置致します
- ・第1会場（大研修室） 開閉会式、対談、一般演題発表①③
- ・第2会場（研修室B） 一般演題発表②④
- ・その他 トイレは1階、2階、4階にございますのでご利用ください。



会場アクセス

〒310-0034 茨城県水戸市緑町三丁目5番35号 茨城県保健衛生会館
電話 029-221-6900

○バスご利用の場合

－水戸駅より－

水戸駅北口バス5番乗り場から新原茨大、自由ヶ丘、赤塚駅方面行バスで約20分、東原1丁目で下車。徒歩3分。

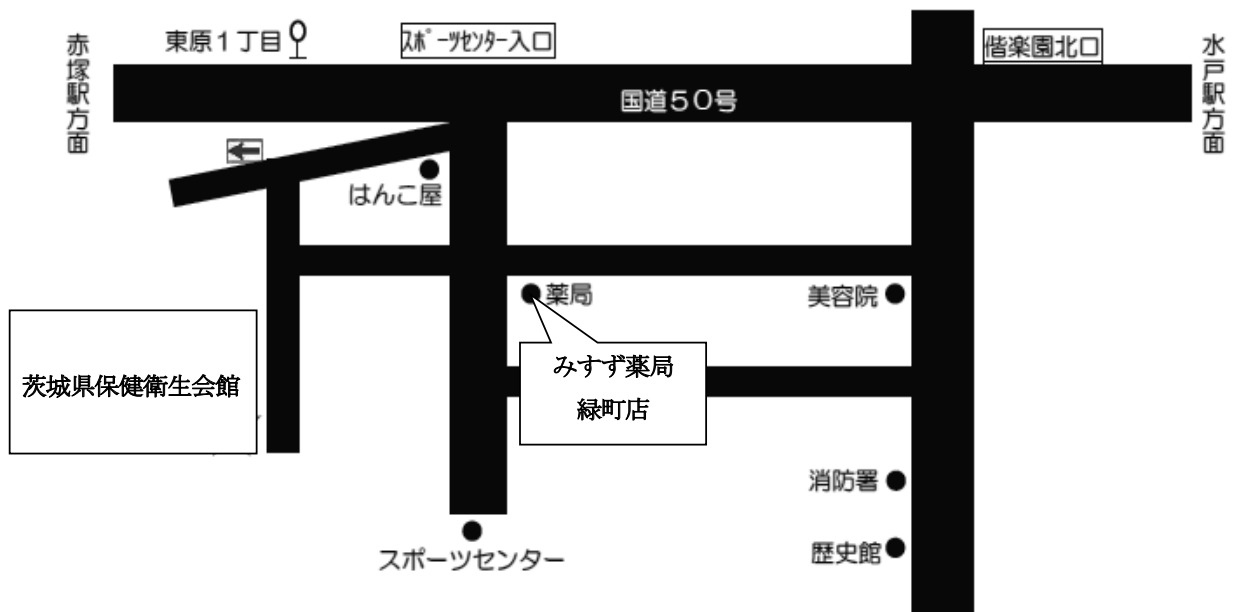
－赤塚駅より－

赤塚駅北口バス乗り場から水戸駅方面バスで約20分、東原1丁目で下車。徒歩5分。

※詳細や最新情報については茨城交通のホームページ等でご確認ください。

○お車ご利用の場合

水戸駅方面からは国道50号線のスポーツセンター入口交差点を左折、赤塚駅方面からは同交差点を右折しすぐの薬局を右折。突き当たり左側のグレーとピンク色の4階建ての建物が茨城県保健衛生会館です。



※駐車場台数に限りがございますので、乗り合わせでの来場や公共交通機関の利用にご協力ください。
また、満車となった際は、近隣有料駐車場をご利用くださいますようお願い致します。

口述発表の皆様へ

1. 事前の参加申込

事前に参加登録をお願いいたします。

2. 発表形式

- ・現地会場にて Microsoft Power Point2019 を用いた口述形式の発表です。
- ・発表データはウイルスチェック済の USB にて持参いただき、当日受付でご提出ください。
- ・各演題の発表時間は、1 演題につき 10 分（発表 7 分、質疑応答 3 分）を予定しています。座長の指示に従い、口頭による発表に続き、発表者と参加者による自由討論を行います。

3. 発表に際しての注意点

- ・利益相反（COI）について開示してください。
- ・発表者の方は必ずセッション開始の 10 分前には各会場へお越しいただき、受付を済ませてください。

座長の皆様へ

- ・現地会場にてパワーポイントを用いた口述形式の発表です。
- ・事前に進行についてお知らせいたします。セッション開始 10 分前までに各会場へお越しください。
- ・発表 7 分・質疑応答 3 分になります。
- ・発表者の演題名・発表者所属名・氏名のご紹介をお願いいたします。
- ・発表時間 6 分でベルを 1 回、7 分でベルを 2 回の合図を、スタッフが操作いたします。

後援団体単位・ポイント認定について

- (公社) 日本医師会 : 生涯教育単位 (認定申請中)
(公社) 茨城県作業療法士会 : 生涯教育基礎ポイント (SIG 認定の学会)
ポイントの申請については、各会の規程に従って各自で行って下さい。

プログラム

13:00～13:10 第1会場 (4階大研修室)	開会式
13:10～14:40 第1会場 (4階大研修室)	対談 「茨城県のリハビリテーションケアの今昔・未来」 座長 浅川 育世 氏 (茨城県理学療法士会 会長) シンポジスト (ご発言順) 今高 國夫 氏 (医療法人社団希望会烏山診療所 院長) 大田 仁史 氏 (NPO 法人日本健康加齢推進機構 理事長) 佐藤 弘行 氏 (茨城県リハビリテーション専門職協会 会長) 諸岡 信裕 氏 (茨城県医師会 顧問 / 茨城産業保健総合支援センター 所長)
15:00～15:40 ①第1会場 (4階大研修室)	一般演題発表① 座長 益子 慎司 氏 (茨城県栄養士会)
②第2会場 (2階B研修室)	一般演題発表② 座長 長山 一恵 氏 (茨城県看護協会)
15:50～16:40 ③第1会場 (4階大研修室)	一般演題発表③ 座長 柴田 直紀 氏 (茨城県介護福祉士会)
④第2会場 (2階B研修室)	一般演題発表④ 座長 小沼 良彦 氏 (茨城県作業療法士会)
17:00～	閉会式

一般演題① 第1会場 (4F 大研修室)

15:00～15:40

座長 益子 慎司 (茨城県栄養士会)

- 1-01 リハビリテーション科スタッフのNST参加がもたらした効果
独立行政法人国立病院機構水戸医療センター 摂食・嚥下障害看護認定看護師 永山 愛子
- 1-02 当院のリハビリテーション・栄養・口腔連携体制における現状と課題
国家公務員共済組合連合会 水府病院 認定作業療法士 宇都木 淳弘
- 1-03 麻痺側上肢の参加できる活動を本人と共有していくことで、洗髪動作の獲得に至った症例
医療法人博仁会志村大宮病院 作業療法士 田口 未生
- 1-04 「その人らしさ」の現実に向けて一病院内における介護福祉士としての取り組み—
医療法人博仁会 志村大宮病院 介護福祉士 鈴木 清隆

一般演題② 第2会場 (2F 研修室B)

15:00～15:40

座長 長山 一恵 (茨城県看護協会)

- 2-01 「できる！」の積み重ねが大きな変化へ～その人らしさの実現に向けた認知症ケアの取り組み～
志村大宮病院 介護福祉士 工藤 直樹
- 2-02 多角的な上肢機能アプローチを提供することにより、洗体動作の自立度が向上した症例
医療法人博仁会志村大宮病院 作業療法士 野崎 優香
- 2-03 入所施設・通所介護事業所の職員を対象とした腰痛予防の取り組み
いちほら病院 連携調整室 理学療法士 森田 英隆
- 2-04 障害者のケアマネジメント支援からみる総合リハビリテーション
相談支援事業所ひなた 障害者相談支援専門員 飯島 弥生

一般演題③ 第1会場 (4F 大研修室)

15:50～16:40

座長 柴田 直紀 (茨城県介護福祉士会)

- 3-01 学校にとって医療従事者が助け舟となるために
～3年にわたる医療職と学校教職員による協働活動から得た気づき～
茨城県立医療大学 理学療法士 滝澤 恵美
- 3-02 共に支える～地域包括ケアシステムの確立をめざして～
医療法人博仁会志村大宮病院 介護福祉士 藤田 拓巳
- 3-03 「型を持って、型にこだわらない」～飽きさせない工夫～
医療法人博仁会志村大宮病院 介護福祉士 / 健康運動指導士 田尻 晴也
- 3-04 稼働率アップの実践と成果
特別養護老人ホームもくせい 介護課リーダー 市川 知弥

一般演題④ 第2会場 (2F 研修室B)

15:50～16:40

座長 小沼 良彦 (茨城県作業療法士会)

- 4-01 高次脳機能障害の改善に合わせた環境調整によって更衣動作の介助量軽減が図れた症例
医療法人博仁会志村大宮病院 作業療法士 齊藤 茉優
- 4-02 T字杖歩行時に後方重心が残存しふらついてしまう第一・三腰椎圧迫骨折の症例
医療法人博仁会志村大宮病院 理学療法士 森 英楓
- 4-03 左大腿骨顆上骨折を呈した超高齢者の歩行再獲得に向けて
いちほら病院リハビリテーション療法科 理学療法士 鯉淵 実生
- 4-04 看護小規模多機能型居宅介護での装具支援～義肢装具士との連携～
看護小規模多機能型居宅介護満天 理学療法士 疋田 勇樹
- 4-05 ロコモ検診導入でみえてきたもの～リハビリテーション専門職として関われること～
国家公務員共済組合連合会水府病院 作業療法士 成井 貴紀

実行委員会組織

大会長	浅川 育世	公益社団法人	茨城県理学療法士会
実行委員長	松田 智行	公益社団法人	茨城県理学療法士会
実行委員	諸岡 信裕	一般社団法人	茨城県医師会
	鶴屋 誠人	公益社団法人	茨城県歯科医師会
	鮎川 安祐	公益社団法人	茨城県薬剤師会
	長山 一恵	公益社団法人	茨城県看護協会
	益子 慎司	公益社団法人	茨城県栄養士会
	小沼 良彦	公益社団法人	茨城県作業療法士会
	高橋 知也	一般社団法人	茨城県言語聴覚士会
	佐藤 直子	一般社団法人	茨城県ソーシャルワーカー協会
	柴田 直紀	一般社団法人	茨城県介護福祉士会
事務局	佐藤 弘行	一般社団法人	茨城県リハビリテーション専門職協会
	下村 哲志	一般社団法人	茨城県リハビリテーション専門職協会
	宇都木 淳弘	一般社団法人	茨城県リハビリテーション専門職協会
	佐藤 誠	一般社団法人	茨城県リハビリテーション専門職協会
	太田 幸人	一般社団法人	茨城県リハビリテーション専門職協会
	飯島 弥生	一般社団法人	茨城県リハビリテーション専門職協会
	荒井 夏美	一般社団法人	茨城県リハビリテーション専門職協会
	武田 頼子	一般社団法人	茨城県リハビリテーション専門職協会

茨城県総合リハビリテーションケア学会 事務局

一般社団法人 茨城県リハビリテーション専門職協会

〒310-0034

茨城県水戸市緑町 3-5-35 (茨城県保健衛生会館内)

電話番号：029-306-7765

FAX番号：029-353-8475

Mail：ibaraki.rehacare@gmail.com